

## B 集会施設の実態・課題

### ■ 施設概要

市民センターを6施設、コミュニティセンター等を8施設保有しています。市民センターは、広く地域活動の拠点としてホールや会議室を備えた市民が利用できる施設で、市役所の出張所機能をもつ施設となっています。コミュニティセンターはホール、会議室といった集会機能が中心の施設となっています。

#### 〔施設一覧〕

地域	複合	施設名	面積 (㎡)	築年	複合施設等
忠生	◎	忠生市民センター	4,810	2015	忠生図書館 忠生保健センター
鶴川	◎	鶴川市民センター	2,610	1985	鶴川保健センター
南		南市民センター	2,117	1986	
成瀬	◎	なるせ駅前市民センター	2,077	1995	自転車等駐車場
相原	◎	堺市民センター	2,863	1982	堺図書館 ふれあいけやき館
小山 小山ヶ丘		小山市民センター	2,705	1994	
玉川学園 南大谷	◎	玉川学園コミュニティセンター	595	1973	玉川学園駅前連絡所
忠生		木曾森野コミュニティセンター	1,000	1988	
忠生		上小山田コミュニティセンター	258	1977	
本町田 薬師池	◎	木曾山崎コミュニティセンター	2,105	1982	木曾山崎連絡所 ふれあいけやき館
南		つくし野コミュニティセンター	1,003	1982	
成瀬		成瀬コミュニティセンター	1,847	2016	
鶴川	◎	三輪コミュニティセンター	1,503	2001	デイサービス三輪
町田中心		町田市民フォーラム	4,465	1999	

### ■ 実態と課題

- 〔配置〕 ・ 市民センター・コミュニティセンターは概ね各地域の比較的交通便利性の良い位置に配置されている。
- 〔建物〕 ・ 14施設中7施設で築30年以上経過している。
- 〔機能〕 ・ 各施設には会議室をはじめとした貸出部屋が複数設けられており、施設案内予約システムより利用することができる。
- 〔利用〕 ・ ホールや音楽室の利用率が高く、和室や調理室の利用率は低く、夜間はさらに低い。
- 〔運営〕 ・ 貸出施設の運営はすべて市の直営である。
- 〔コスト〕 ・ 使用料による収入が費用の1割以下である施設が多い。

## ■ 4つの視点から

---

### 行政関与の必要性

- ・ 条例により設置している施設であって、法律で義務付けられているものではない。

### 設置目的との整合性

- ・ 地域住民の文化活動が行われている点で整合性があるといえる。

### 利用状況の妥当性

- ・ ホールや音楽室の利用率が高い。
- ・ 会議室や和室など、夜間時間帯で利用率が低い部屋がある。

### 施設の代替性

- ・ 集会機能は他の公共施設のスペース活用による代用も可能である。
- ・ 公共施設以外にも集会機能を有する場は多く存在している。

#### 〔現状・課題のまとめ〕

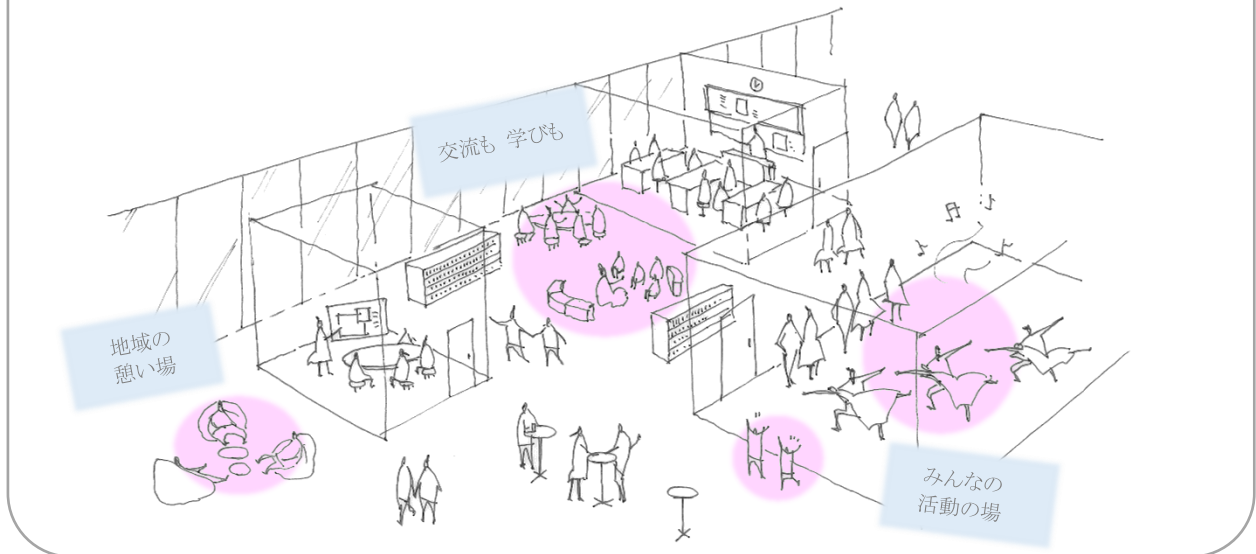
集会施設では市民の交流や文化活動を支援しています。ただし、一部、文化ホール施設や生涯学習施設などの他機能との機能重複がみられる状況です。また、現状では部屋のタイプや時間帯により利用状況にバラつきがある状況です。サービスレベルの見直しと、管理運営手法の見直し、集約及び複合化による効率的かつ効果的なサービスのあり方の検討が課題です。

## ▶ B 集会施設の今後の方向性

### ■ 再編後のイメージ例

☆≡

- ・ 他の施設へ複合化することで、より便利になり、他のサービスに触れる機会が生まれ、新たな交流や活動のきっかけになります。
- ・ 活動や交流が活発になることで、健康増進や地域コミュニティの強化が図られます。



### ■ 今後の方向性

集約

複・多

**集約化**や**複合化・多機能化**により建物の総量の**圧縮**や**地域の活動拠点の強化**を図るとともに、管理運営手法等の見直しを実施することで、新たな交流や活動の場を維持し、豊かで持続可能な地域社会づくりを進める。

- ✓ 集会機能を持つ施設の整理を行い、集約または複合化を図る。
- ✓ 利用の少ない時間帯などの施設の使い方を見直す。
- ✓ 施設ごとのサービスのあり方や管理運営手法等を見直す。
- ✓ 公平かつ社会環境に適合した受益者負担の適正化を図る。

～こんな取り組みも始まっています～

### 横浜市 コミュニティハウス

横浜市では地域の人々の身近な地域活動や生涯学習の場として、コミュニティハウスを学校施設内や既存施設を活用して設けています。このうち、東山田中学校では、神奈川県で初めて地域住民や保護者などが一定の権限を持って学校運営に参画し、地域に開かれた学校「コミュニティスクール」として2005年に開校しました。中学校の中庭に面した市民利用施設—コミュニティハウスは、地域住民が自らの活動の場を住民自身の手で運営し、地域住民の生涯学習や地域活動の場を身近に確保するとともに、学校と地域との交流・連携を深めています。



図書情報コーナー



ある日のサロン

中学校の中庭に面した  
380㎡の市民利用施設



中庭



おやこのひろば



夏休みの小学生キャンプ  
中学生のボランティア活動